

平成11年度 畑作関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成11年度畑作関係除草剤の試験成績
中央検討会を平成11年12月7日、植調
会館会議室において開催した。

本年度供試された畑作関係除草剤は、の
べ作用性試験7剤、適用性試験27剤であ

った。

このうち、適用性試験については、慎重
に試験成績を検討し、実用化についての判
定を行った。

その結果は、次表の通りである。

平成11年度 畑作関係除草剤中央判定および使用基準

番号	薬剤名	作物名	使用基準								継続の内容
			判定	対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (散布水量) ^a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1	BAS-656乳 ジメナミド [®] -P 720g/L	大豆	継								・効果、薬害 の確認
		とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	継								・効果、薬害 の確認
2	CG-119 α乳 S-メトラクロル 82%	大豆	実	一年生イネ科 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	7～10mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1) 広葉雑草(特に7か 科)には効果が劣るの で、イネ科雑草優占圃場 で使用する。こと。 2) 有機物の多い土壌や 粘土質の土壌では所定 範囲内で多めの薬量を 散布する。	
				一年生雑草 全般			7～13mL (10L)		寒冷地以西		
		菜豆	実	一年生イネ科 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	7～10mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1) 広葉雑草(特に7か 科)には効果が劣るの で、イネ科雑草優占圃場 で使用する。こと。 2) 有機物の多い土壌や 粘土質の土壌では所定 範囲内で多めの薬量を 散布する。	
				一年生雑草 全般			7～13mL (10L)		寒冷地		
		とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実・ 継	一年生イネ科 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	7～10mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1) 広葉雑草(特に7か 科)には効果が劣るの で、イネ科雑草優占圃場 で使用する。こと。 2) 有機物の多い土壌や 粘土質の土壌では所定 範囲内で多めの薬量を 散布する。	・処理時期の 拡大
				一年生雑草 全般			7～13mL (10L)		寒冷地以西		
		てんさい (移植)	実	一年生イネ科 雑草	土壌	移植後、 雑草発 生前	7～10mL (10L)	全土壌	寒地		

番号	薬剤名	作物名	使用基準								継続の内容
			判定	対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (散布水量)/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
3	CG-119α乳+7 トラジ 水和 S-メトラクロール 82% 7トラジン 47.5%	とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実	一年生雑草 全般	土壌	播種後、 雑草発生 前	10mL+15g (10L)	全土壌	寒地	1)イネ科雑草の多発圃場 ではイネ科雑草の2葉期ま でに使用する。	
					茎葉	とうもろ こし2〜3 葉期	7mL+10g (10L)				
4	CG-123α707 アル S-メトラクロール 24% 7トラジン 25%	とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌	播種後、 雑草発生 前	14〜20mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)イネ科雑草の多発圃場 ではイネ科雑草の2葉期ま でに使用する。	・暖地におけ る効果の確 認
							14〜26mL (10L)		寒冷地以西		
					茎葉	とうもろ こし2〜4 葉期	14〜20mL (10L)		寒地		
							14〜26mL (10L)		寒冷地以西		
5	HSA-9707077 アル フェンメ'イアム 14.5%	てんさい (直播)	継								・効果、葉害 の確認
		てんさい (移植)	実・ 継	一年生広葉 雑草	茎葉	活着後雑 草発生揃	40〜60mL (6〜8L)	全土壌	寒地	1)好'に効果が劣る場合 がある。 2)処理時の葉に一過性 の葉斑が生じる場合が ある。	・移植栽培に おける2回 処理につい て
6	HSW-971乳 ア'ロメリン 15% IPC 25%	大豆	実	一年生広葉 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	33〜40mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が劣 る。	
		小豆	実	一年生広葉 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	33〜40mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が劣 る。	
		菜豆	実	一年生広葉 雑草	土壌	播種後雑 草発生前	33〜40mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が劣 る。	
7	HSW-9104S乳 デ'スメ'イアム 2.5% フェンメ'イアム 10% S-メトラクロール 7.5%	てんさい (移植)	実	一年生雑草 全般	茎葉	移植後雑 草発生揃	50mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地	1)好'に効果が劣る場合 がある。	
8	KUH-901乳 ベンチオカーブ 50% ベン'イメリン 5% リニロン 7.5%	とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌	播種後雑 草発生前	50〜80mL (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	全域	1)土壌が極端に乾燥し ている場合は効果が劣 る。	・暖地におけ る葉害の確 認

番号	薬剤名	作物名	使用基準								継続の内容
			判定	対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (散布水量)/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
9	KUH-959乳 フルチアセトメチル 5%	とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実・ 継	イチビ	茎葉	イチビ3 ～5葉期 とうもろ こし4葉 以上	0.5～1mL (10L)	全土壌	寒冷地以西	1) 1科雑草対象の土壌 処理剤と体系処理する。 2) 処理時の葉に一過性 の白斑が生じる場合が ある。	・白斑症状発 生要因の解 明 ・暖地での処 理時期の拡 大 ・イチビ5～8 葉期での効 果の確認
						イチビ5 ～8葉期 とうもろ こし4葉 以上	1mL (10L)		寒冷地 温暖地		
10	MON-96 A液 グリホサートアンモニウ ム塩 41%	大豆	実・ 継	一年生雑草 全般	茎葉	耕起10日 以前雑草 生育期 (草丈 30cm以 下)	25～50mL (2.5～10L)	全土壌	寒冷地以西	1) 少水量散布(2.5～5L) の場合は専用ノズルを使用 する。	・暖地におけ る効果の確認
		かんしょ	実・ 継	一年生雑草 全般	茎葉	耕起7日 以前雑草 生育期 (草丈 30cm以 下)	25～50mL (2.5～10L)	全土壌	温暖地	1) 少水量散布(2.5～5L) の場合は専用ノズルを使用 する。	・効果の確認 ・地域拡大
		さとうき び (圃場周 縁)	実	一年生雑草 全般	茎葉	雑草生育 期	25～50mL (2.5～10L)	全土壌	暖地	1) 少水量散布(2.5～5L) の場合は専用ノズルを使用 する。 2) 有用作物に飛散しない ように注意する。	
				多年生雑草 全般			50～100mL (2.5～10L)				
11	NC-36070アグノ キザロホップエチル 7%	ばれい しょ	継								・効果、薬害 の確認
12	RH-731顆粒水 和プロピザミド 80%	てんさい (移植)	継								・効果、薬害 の確認
13	RYH-104顆粒 水 and イキサフル 72.5%	とうもろ こし 飼料用と うもろこ し	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌	播種後雑 草発生前	1.5～2g (10L)	全土壌 (砂土を 除く)	寒地 寒冷地 温暖地		・効果の確認
							1.5～2.5g (10L)		暖地		
		さとうき び	継								・効果、薬害 の確認
14	S-604乳 クロジム 23%	菜豆	実	一年生イネ 科雑草	茎葉	イネ科雑 草3～5葉 期	3.5～5mL (10L)	全土壌	寒地	1) 1科雑草優占圃場で 使用する。 2) 体系処理、広葉雑草対 象の既登録土壌処理剤 を使用する。	
		てんさい	実・ 継	一年生イネ 科雑草	茎葉	イネ科雑 草3～5葉 期	3.5～ 5mL (10L)	全土壌	寒地	1) 1科雑草優占圃場で 使用する。 2) 体系処理、広葉雑草対 象の既登録土壌処理剤 を使用する。	・多年生1科 雑草に対す る効果につ いて

番号	薬剤名	作物名	使用基準								継続の内容
			判定	対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (散布水量)/a	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
15	WOC-01液 グリホサートイソプロ ピルアミン塩 41%	大豆	実・ 継	一年生雑草 全般	茎葉	耕起または播種7 日以前雑 草生育期 (草丈 30cm以 下)	25～50mL (散布水量 2.5～10L)	全土壌	寒冷地以西	1)少量散布(2.5～5L) の場合は専用ノズルを使用 する。	・暖地における効果の確認
		さとうき び	継								・効果、薬害 の確認
16	クロルピクリン液 クロルピクリン 99.5%	ばれい しょ	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌灌 注	植付前処 理後覆 土・ポリエ チレン・ビ ニール等被 覆 (10～15 日)	2000～ 3000mL	全土壌	温暖地東部	1)処理時に土壌水分を適 湿に保つこと。 2)ガスが十分抜けたこと を確認して植付する。 3)ガス抜きを行う場合に は、浅めに耕起する。 4)催涙性が強いので取り 扱いに注意する。	・地域拡大 ・効果、薬害 の確認
		かんしょ	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌灌 注	挿苗前処 理後覆 土・ポリエ チレン・ビ ニール等被 覆 (10～15 日)	2000～ 3000mL	全土壌	温暖地東部	1)処理時に土壌水分を適 湿に保つこと。 2)ガスが十分抜けたこと を確認して挿苗する。 3)ガス抜きを行う場合に は、浅めに耕起する。 4)催涙性が強いので取り 扱いに注意する。	・地域拡大 ・効果、薬害 の確認 ・薬量と塊根 形成につい て
		こんにゃ く	実・ 継	一年生雑草 全般	土壌灌 注	植付前処 理後覆 土・ポリエ チレン・ビ ニール等被 覆 (10～15 日)	2000～ 3000mL	全土壌	寒冷地 温暖地東部	1)処理時に土壌水分を適 湿に保つこと。 2)ガスが十分抜けたこと を確認して植付する。 3)ガス抜きを行う場合に は、浅めに耕起する。 4)催涙性が強いので取り 扱いに注意する。	・地域拡大 ・効果、薬害 の確認

